

市町村合併を考える

(連載 その9)



市民にとって何らメリットのない合併

面積だけ広く、借金も市民負担も増える

合併したからといって直ぐにバラ色になるものではない(説明会資料)

6月30日から7月30日の間に22地区自治会連合会・市内全域24会場で市町村合併の説明会が開催されました。

合併について市民の関心は低い

地区自治会連合会長が「参加者が少ない」とか「資料や説明を聞いただけではよく分からない」と発言しておられました。又、参加者からは「議員の身分と任期」に意見が集中し、肝心な新しい「まちづくり」についての意見が少なかった。このような状況で市民に理解されたとして、合併を進めてよいのでしょうか。

参加人数は延べ1,278人(市議会議員176人)、市役所の職員が約100名との報道があり、地域住民の実質参加者は約1000名程度。(有権者比率 1.2~1.5%と非常に参加率が低い。岩国市の有権者 84881人)

まちづくりは健全財政で

「合併で重要なことは、新しい市になった時に財政がどうなるのか、この問題について市民に資料の提供がないので理解できない。」このように参加者が述べています。

岩国市の予算 約432億円 1人当たり約40万円(人口 107381人)

岩国市の借金(一般・特別会計) 約650億円 1人当たり約60万5000円

合併すれば 市民の負担は

岩国圏域(玖珂町参加)8市町村の1年間の予算額 約650億円 1人当たり約42万円。

岩国圏域8市町村の1年間の借金(一般・特別会計) 約1095億円 1人当たり約71万円

「1人当たり」とは「生まれた子供から大人」迄をいいます。(人口 153985人)

これ以外に、今後発生する借金が300億円とも400億円ともいわれています。その主な事業内容(愛宕山関連事業、市役所・総合支所建設関連事業、各町村の大型公共事業関連事業)があります。

又、都市計画税(0.2%)を導入することが検討されています。

市民不在の合併 反対

岩国広域の合併は、市民にとって何ら利益にもならず、面積(871.62K²・山口県第一位)だけが広く、理念なき市民不在の押し付け合併に、私は反対です。

「議員の身分と任期」については合併特例によらず、地方自治法に基づく、いわゆる「原則選挙」、合併と同時に定数34名以内の選挙の実施を求めています。

参考 在任特例 119名(2年以内) 定数特例 68名以内(4年間) 原則選挙 34名以内

合併の是非は住民投票で

市民の中には、合併はもう決まったかのように誤解をしておられる方があります。

今は、玖珂町も加わった協議会(8市町村)で市民生活にかかわる諸問題を協議中です。各種協定項目の合意が出来たら、調印をし、各議会に「合併議案」が上程され、全議会が可決すれば、合併が成立します。

岩国市では10月から常設型の「住民投票条例」が施行されます。

この条例は、市の将来を決める重要な問題で市民の意見が二分している場合に実施するとされています。

私は議会で合併について住民投票を度々求めてまいりましたが、市長は「実施しない」と答弁しています。是非、合併は市民の意志で、住民投票で決めましょう。

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議會議員

海士路町2 55 7
31 2985

赤旗
お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円



九月議会

一般質問中止

一般会計補正予算などを審議するため、八月三十一日に開会した議会は八日から一〇日までの三日間の日程で十八人が一般質問を事前通告していましたが、台風十八号の接近で被害が市内全域にわたリ、特に柱島三島など停電と断水が続いており、市を挙げて復旧作業に当たるため、九日に各派代表者会議を開催し、被害対策を優先するために一般質問を打ち切り、十二月議会で質問を行なうことになりました。

私、山田は「市町村合併問題で地域説明会、在任特例反対の署名、住民投票の実施を求めること」、「まちづくり」ルールの確立と活性化問題で市内の商業活動の現状、小規模工事等契約者希望登録制度と住宅リフォーム助成制度の導入「災害対策では川下地区等並びに豪雨時の浸水対策」と「アルゼンチンアリの被害対策」について質問を行なう予定でした。

十二月議会で再度この項目で質問を行ないますので参考になるご意見がありましたらお寄せください。
質問の主旨を列記します。

市町村合併

地域説明会について、六月三十日から七月三十日、市内二十二日 民に理解されたか」という内容

間、二十四会場で「新市の将来図 在任特例については、「岩国である『新市建設計画(案)』の説 市で約二万人の署名が法定協明会が開催され、一会場平均四六 提出されました。これについて

人と参加者が非常に少なく、このような状況で市町村合併が住民に理解されたか」という内容

市長の見解を問う」内容です。

現在「市民不在の合併議論が進められている。住民投票の実施について市長は以前『必要な』との答弁を行なったが、合併は市民にとってきわめて重要な課題であり、市として合併の是非を問う住民投票を実施すべき」という内容です。

『まちづくり』

ルールの確立と活性化を

商店街は、シャッター通り」とか「空き店舗」等いまや商店街の代名詞になっている。その一方ではこうこうと照明をきらめかせ深夜営業を続ける大型店の乱立で住環境等が破壊されている。ルールあるまちづくりを求めると共に市内の商業活動の状況について質問を行ないます。
「小規模工事等契約希望者登録制度」と「住宅リフォームの助成制度」の導入については

「工事等の指名競争入札参加資格参加審査済みの登録業者以外の小規模事業者の登録制度を設け、中小企業の活性化を図る制度、並びに個人住宅のリフォームに対して、市内の業者を利用して、工事の10%を助成する制度」、このような制度は全国的に景気の浮揚に効果があるとして評価され、実施されています。岩国市での実施を求める内容です

災害対策

錦川流域並びに川下地区、又豪雨時に常時浸水する藤生、海士路地区での具体的な対策を求める内容です。

環境問題

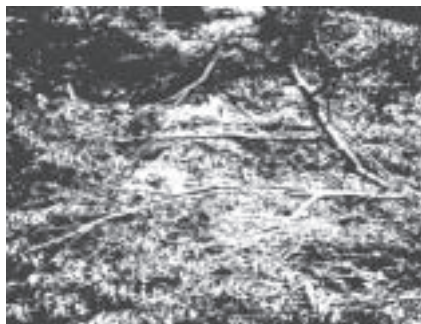
黒磯地区のアルゼンチンアリの被害実態調査と駆除剤の補助を求める内容です。

台風被害お見舞い申し上げます

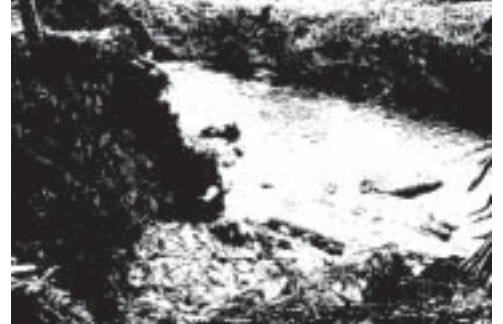
— 台風被害に遭われた皆さんからの要望を県・市に要請いたしました。 —



台風18号の強風で倒れたムクの大木



なぎ倒された栗の木



決壊した河川